



ボラセンだより

来てみて 見てみて やってみよう

～あなたのそばに いつでも社協～

発行

社会福祉法人
鹿児島市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒892-0816
鹿児島市山下町15番1号
TEL 221-6072
FAX 221-6075
Email k-shakyo@dondon-net.or.jp
ホームページhttp://www.dondon-net.or.jp/

第6回

わくわく福祉交流フェア

平成29年11/5日
10:00から15:00まで

入場・観覧
無料
雨天決行

会場：●上町ふれあい広場 ●ベルク広場 ●天文館シネマパラダイス

第6回わくわく福祉交流フェアを、今年も市と市社協が共催で開催いたします。当日は、芸能音楽ステージ、子ども向けイベント、わくわくバザー、模擬店コーナー、福祉施設製作品・展示即売コーナーをはじめ、楽しいイベントをご用意しています。皆さまのご来場を心からお待ちしております。



メインステージ



模擬店コーナー



キッズ広場



ボランティア推進校の表彰

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

わくわく福祉交流フェア実行委員会（鹿児島市地域福祉課216-1245 鹿児島市社会福祉協議会221-6072）

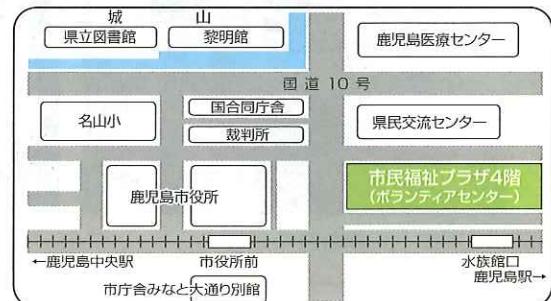
■ボランティアセンター 利用案内■

開館時間 平日・土曜 8時30分～21時

日曜・祝日 8時30分～17時

休館日 毎週火曜日・年末年始(12月29日～1月3日)

ボランティア活動に関する情報提供・相談・活動紹介等、お気軽にご利用下さい。



赤い羽根共同募金運動が始まります



市民の皆様には、「赤い羽根」共同募金運動に対しまして、いつもあたたかいご支援、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

今年も、10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。

平成28年度は、多くの市民の皆様をはじめ、ボランティア団体の皆様や企業等のご協力をいただき、約6,056万円もの募金が寄せられました。心からお礼を申し上げます。

なかでも街頭募金活動では、民生委員・児童委員や小・中・高等学校の児童生徒さん、そしてボランティア団体の皆様からのご協力をいただき約294万円の募金が寄せられました。

鹿児島市内で集められた共同募金の約60%は、市内のボランティア団体等が行う福祉活動の支援や、校区社協が行う地域の絆を深めるための交流事業、子育てサロン（0歳児から3歳児まで）などに使われており、市民自らの活動を応援するいわば「じぶんの町を良くするしきみ。」として活用されています。

今年度の街頭募金は、10月から12月まで6回実施する他、11月に開催される「わくわく福祉交流フェア」でも実施します。

今年度も、ご協力いただける方は下記までご連絡下さい。

皆様のあたたかい善意を共同募金運動にお寄せくださいようよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先：鹿児島市共同募金委員会

（TEL：221-6073 FAX：221-6075）



ボランティア推進校指定校の紹介

市社協では、次代の担い手である小学校、中学校、高等学校の児童・生徒の皆さんに、ボランティア活動の体験を通して、社会奉仕・社会連帯の精神という「福祉の心」を育むことを目的として、ボランティア推進校を指定し、その活動が充実するよう支援しています。

推進校では、市社協の「ボランティア出前講座」や「サマーボランティア体験」、「ボランティアリーダー研修会」などを活用していただき、先生方からは「様々なボランティア活動を通じて児童・生徒の成長が見られた。」「施設の方々との交流では、大変喜ばれた。」など、大変貴重な感想をいただいております。

今年度は、新たに伊敷台中学校、甲南高等学校、鶴丸高等学校の3校を推進校として指定しました。これにより、市内小・中・高等学校149校のうち、指定校が140校となりました。

指定を受けられました3校の生徒の皆様の今後のご活躍を期待しております。



伊敷台中学校



甲南高等学校



鶴丸高等学校

サマー・ボランティアを体験して

「サマー・ボランティア体験」事業は、ボランティア活動に关心のある小・中・高・専門学生・短大生・大学生が、夏休み期間中に自らの意志で、活動施設を選んでボランティア活動を体験する事業です。

今年は7月21日から8月31日まで、約90か所の福祉施設（高齢者施設、障害者施設、児童施設など）で約500名の児童・生徒・学生の皆さんのが参加されました。

ボランティア体験をされた皆さん、大変有意義で貴重な体験をされたようです。

また、受け入れにご協力をいただきました福祉施設の皆様方、まことにありがとうございました。

<参加者の感想>（高校3年女子生徒）

私は今回のサマー・ボランティアを通して、一人ひとりの子どもに対する接し方や、仕事の大変さとともに保育という仕事に対してのやりがいなど、多くのことを学びました。

幼稚園の先生になりたいという夢が、今回のボランティアを通してその気持ちがより一層高まったように思います。

<受入施設の感想>（保育園職員）

暑い時期のボランティア活動でしたが、元気よく子供たちの手伝いや清掃の手伝いをしてくれました。あいさつや話を聞く様子など学生らしさがあり好感が持てました。



鹿児島市東部親子つどいの広場なかまっち



伊敷保育園



子ども家庭支援センターゆめわかば

「九州北部豪雨災害」支援活動報告

市社協では、7月29日から8月21までに福岡県東峰村災害ボランティアセンターに職員4名を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。

社協職員は、被災された方々の一刻も早い復興支援と、全国から支援活動に来られるボランティアの方々の活動環境づくりのために、総合受付やオリエンテーション、マッチングに加え、被災者からの支援依頼（ニーズ）受付や現場調査などの業務を行いました。

災害ボランティアセンターには、平日で約140人、土日には約300人を超えるボランティアの方々が、夕方まで被災地での支援活動に取り組んでいただきました。

被災された方々にとっては、全国から支援活動に来られるボランティアの支援は、大変に有り難く、心の支えとなっております。

今回は、本市からも数多くの市民の方々がボランティアとして活動していただきました。

ご協力、ご支援まことにありがとうございました。



ボランティア受付の様子



ボランティア活動の様子

29年度第1回災害ボランティア研修会

ボランティアセンターでは、8月10日（木）、かごしま市民福祉プラザにおいて、98名のボランティアの皆さんの参加のもと「平成29年度第1回災害ボランティア研修会」を開催しました。

今年は、「九州北部豪雨災害」や「秋田県豪雨災害」などのほか、鹿児島でも鹿児島湾を震源とする震度5弱の地震があったことから、参加されたボランティアの皆さんも真剣に聴講しておられました。

研修会では、垂水市社会福祉協議会の松浦浩二事務局長による「垂水市災害ボランティアセンターの運営事例」についての基調講演や活動事例報告として、SeRV鹿児島の青崎さん、公益財団法人鹿児島県国際交流協会の鮫島さん、鹿児島市難聴者・中途失聴者協会の松尾さんから災害時のボランティア活動のあり方について、貴重な提言をいただきました。

参加していただきましたボランティアの皆さん、ありがとうございました。



講演の様子（垂水市社会福祉協議会）



クロスロードゲームの様子

ボランティア推進校ボランティアリーダー研修会

8月30日（水）に、かごしま市民福祉プラザにおいて、「ボランティア推進校ボランティアリーダー研修会」を開催し、市内の小・中・高校の児童・生徒や先生方201人が参加されました。

研修会は、昨年、今年と全国各地において地震や土砂災害などの災害が発生していることから、「人にやさしい災害ボランティア」をテーマとした内容であったことから、児童・生徒の皆さんも真剣にクロスロードゲームに取り組みました。

今回の研修で、児童・生徒の皆さんの防災・減災意識の高揚が図られたものと思います。



小学生の部



中学・高校生の部



クロスロードゲームの様子